

公明こうち

市議会ニュース

発行所／高知市議会公明党
住所／〒780-0870
高知市本町4丁目1番24号
TEL:088-823-9403
FAX:088-871-2485

2016年(平成28年)2月1日 第32号

高知市議会 KOMEITO 公明党

第453回

高知市
議会
定例会

4期目の岡崎市政に対し、
市民生活を守る公明党の主張を質問戦で展開！



やまね たかひろ
山根 堂宏 議員



たかぎ たえ 妙 議員



おくぼ たかし
大久保尊司 議員

代表質問に立った山根堂宏議員は、平成27年11月に執行された高知市長選挙において岡崎誠也高知市長が高知市の将来像として「にぎわいと暮らし安心のまちづくり」を公約に掲げた、5つの基本政策のマニフェストに基づき、4期目の市長の施政方針について質問をしました。高知市を含め地方都市を取り巻く環境は、人口減少・少子高齢社会への時代の大きな変化への対応など極めて厳しい状況にあり、その上、南海地震対策や雇用創出・子育て支援策など、喫緊の市政課題に触れながら、将来を見通した財政運営と時代に即応した機関と特色ある政策の創出、地域経済の活性化などについて提言を含め所見を伺いました。
(主な内容は以下の通り)

1. 市長選の総括と今後の抱負

ささらに、国が掲げる「一億総活躍社会」の会派の理念を挙げ、行政サービスの拡充、産業・雇用の創出、地域経済の活性化などについて提言を含め所見を伺いました。

2. 市長の政治姿勢について

さらに、国が掲げる「一億総活躍社会」の会派の理念を挙げ、行政サービスの拡充、産業・雇用の創出、地域経済の活性化などについて提言を含め所見を伺いました。

- ① 橋梁の耐震調査と耐震対策
- ② 路面下空洞化調査
- ③ 心の健康政策について
- ④ 防災・減災対策について
- ⑤ 新たな協働と連携のまちづくり

◆ (仮) 高知市手話言語条例の制定について
答 手話言語条例制定は、重点施策として掲げ四国初の制定を目指し、予算編成作業とあわせて現在準備を進めています。

◆ 津波避難ビル指定の要件緩和について
問 津波避難ビル指定のあり方について、地域偏在の解消のためにも、ガイドラインの見直しを行なうべきであると考えますが、伺います。

答 ビル等が建っている地点の地盤高や浸水深などを考慮し、高さ要件の見直しを検討していると見えます。

◆ 子育て支援政策
答 「子ども・子育て支援新体制」がスタートしたことにより、保育をはじめとするさまざまな子育て支援に関する情報提供や相談、助言等をおこなう「利用者支援事業」の実施が自治体に求められるようになり、本市においても「高知市版ネウボラ」等の伴走型の支援の展開とともに、官民一体で情報提供ができる基盤整備の視点から、子育て世代の多くが利用しているスマートフォンを活用した、本市の特徴にあわせて柔軟に情報提供ができるツールの取り組みを求めました。

子ども未来部長より、子育ての不安を解消する、育児不安に寄り添うための、多様なツールを活用した子育て支援情報の発信に取り組んで行くとの答弁を得ました。

高木妙議員は、岡崎市長4期目の初議会に当たり、地方創生における教育と人口の自然減解消について、実効性ある取り組みを正し、長期浸水対策など多岐にわたり質問を行いました。

◆ 地方創生と教育政策

教育は、様々な切り口を持つて地方創生に大きな効果を生むと期待されていますが、教育再生実行会議が取りまとめた第6次提言と、本市総合戦略との整合性について伺います。

◆ マイナンバー制度
答 第6次提言では、地域活性化には人材育成が必要不可欠であり、そのため、教育が地方創生を進めるエンジンとなるとした上で小中学校、大学、専修学校等が担うべき役割について提言されており、本市が10月に策定した総合戦略とも方向性を一にするものと考えております。本市の総合戦略に盛り込んだ地域連携による学校運営や若者の県外流出に歯止めをかける新たな支援制度の検討、地元就職率向上に向けた取り組みを積極的に進めて参ります。

◆ マイナンバー制度

マイナンバーの記載が必要な行政手続きにおける番号確認の際、サービスを提供する行政側が、サービスを受ける市民に対して負担を感じさせない取り組みをしっかりとおこない、市民への配慮を十分におこなう事を求めました。

◆ 子育て支援政策
答 「子ども・子育て支援新体制」がスタートしたことにより、保育をはじめとするさまざまな子育て支援に関する情報提供や相談、助言等をおこなう「利用者支援事業」の実施が自治体に求められるようになり、本市においても「高知市版ネウボラ」等の伴走型の支援の展開とともに、官民一体で情報提供ができる基盤整備の視点から、子育て世代の多くが利用しているスマートフォンを活用した、本市の特徴にあわせて柔軟に情報提供ができるツールの取り組みを求めました。

◆ 消防行政について
問 自然災害から、市民の命を守るために「安全・安心のまちづくり」において、「地域の防災力を高める対策」「守った命をつなぐ対策」の充実を図るために、学生消防団の設置の取り組みを訴え、市長より、前向きに検討していくとの答弁を得ました。

◆ 消防行政について
問 大久保尊司議員は、次のとおり総括方式で質問を行いました。

これから市政の柱として、地震や台風等の自然災害から、市民の命を守るために「安全・安心のまちづくり」において、「地域の防災力を高める対策」「守った命をつなぐ対策」の充実を図るために、学生消防団の設置の取り組みを訴え、市長より、前向きに検討していくとの答弁を得ました。

◆ 消防行政について
問 大久保尊司議員は、次のとおり総括方式で質問を行いました。

これから市政の柱として、地震や台風等の自然災害から、市民の命を守るために「安全・安心のまちづくり」において、「地域の防災力を高める対策」「守った命をつなぐ対策」の充実を図るために、学生消防団の設置の取り組みを訴え、市長より、前向きに検討していくとの答弁を得ました。

◆ 消防行政について
問 大久保尊司議員は、次のとおり総括方式で質問を行いました。

これから市政の柱として、地震や台風等の自然災害から、市民の命を守るために「安全・安心のまちづくり」において、「地域の防災力を高める対策」「守った命をつなぐ対策」の充実を図るために、学生消防団の設置の取り組みを訴え、市長より、前向きに検討していくとの答弁を得ました。

◆**南海トラフ地震等大規模災害対策について**
地震が発生し津波から速やかに津波避難、ビルへ誘導するための避難案内表示板の設置を要望しました。市長より、夜間停電時も配慮した案内表示の方法等も含め今後、地域の方々と避難訓練等を、実施しながら必要と考えた箇所への設置について、検討して参りたいとの答弁を得ました。

◆**交通政策について**
道路交通法改正後の小中学校への自転車の安全教育の状況について質問し、自転車運転者が加害者となる視点を含め、交通安全教育を進めていくことが必要であり、警察等関係機関と連携を進めながら自転車運転のルーメナーの徹底を図る旨の答弁を得ました。

◆**水道事業について**
水管撤去について、これまで議会でも繰り返し議論がなされている重要な課題にも解決に至っていない現状を指摘しました。執行部より、平成二十八年一月の「広報すいどう」に新たに鉛製給水管の取替え制度の説明を掲載し、鉛製給水管撤去を進めて参るとの答弁を得ました。

◆**南海トラフ地震等大規模災害対策について**

地震が発生し津波から速やかに津波避難、ビルへ誘導するための避難案内表示板の設置を要望しました。

市長より、夜間停電時も配慮した案内表示の方法等も含め今後、地域の方々と避難訓練等を、実施しながら必要と考えた箇所への設置について、検討して参りたいとの答弁を得ました。

◆**旧御畠瀬小学校の活用**

桂浜・浦戸の再開発が進む中、廃校になつた御畠瀬小学校が3年もの間、使用されずにそのままの状態となつており、行政財産の無駄遣いが続いていることから、市長に対しても活用をどのように考へているのか、NPO法人の若者の活用提案を紹介する等、提案を交えて質問し、市長の見解をただしました。

(詳細は、寺内のりよしHPをご覧下さい。)

伊藤弘幸議員は、次のとおり質問を行いました。

◆**水道事業について**

かねてより課題となつてゐる鉛製給水管撤去について、これまで議会でも繰り返し議論がなされている重要な課題にも解決に至っていない現状を指摘しました。執行部より、平成二十八年一月の「広報すいどう」に新たに鉛製給水管の取替え制度の説明を掲載し、鉛製給水管撤去を進めて参るとの答弁を得ました。

◆**公益法人桂浜水族館**

桂浜水族館は、民立民営により経営を行なつておらず、明年創立85周年を迎える。このため、売店と飲食スペースをリニューアルする改修工事申請を高知市に行いましたが認められませんでした。民間事業者が自己資金により行なう改修工事をなぜ認めないのか、その理由をただしました。

◆**御畠瀬地区の空き家対策**

御畠瀬地区には、保安上危険な空き家が多いことから、スピード感を持つて対応するよう執行部に求めました。特に所有者も解らず長年置き去りになり、今にも崩れそうな危険な空き家については行政代執行も見据えた早急なる対応を市長に求めました。

寺内憲資議員は、次のとおり一問一答方式で質問を行いました。

◆**御畠瀬地区の空き家対策**

御畠瀬地区には、保安上危険な空き家が多いことから、スピード感を持つて対応するよう執行部に求めました。特に所有者も解らず長年置き去りになり、今にも崩れそうな危険な空き家については行政代執行も見据えた早急なる対応を市長に求めました。



いとう ひろゆき
伊藤 弘幸 議員



寺内 憲資 議員

平成28年度 予算要望書を岡崎誠也市長に提出

昨年12月2日に新年度の予算編成に向けた、「平成28年度予算要望書」を岡崎市長に提出しました。

政府が掲げる「一億総活躍社会」を確実に進めるために、高知市版「地方創生」は「ひと」が要であり、高知市に住む一人ひとりが夢や誇りを持ち、安全に安心して暮らせる地域を目指すための行政サービスの拡充、産業・雇用の創出、地域経済の活性化について、スピードをもって推進するための財政運営と時代に即応した機構と特色ある政策の展開が求められます。要望書は、人口減少・少子高齢化への対応など、各部局に対し合計138項目を求めた内容になっています。岡崎市長は、4期目の初年度の予算編成にあたり「要望を踏まえ、前向きに検討したい」と述べられました。



新春街頭演説

1月3日(日)高知市日曜市初売りにおいて、追手筋で新春街頭演説を行いました。

私たち高知市議会公明党は、来年4月からの軽減税率の導入、社会保障制度の充実、携帯電話通信料金の値下げ等、皆様が安心して生活ができるよう、本年も取り組み、しっかりと働いて参りますので、ご指導・ご鞭撻、更なるご支援を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。



太陽

平成24年11月18日、桂浜で「レツツゴー！ハンドインハンド」というイベントが行われた。発案者は、坂本龍馬記念館の森健志郎館長であった。なぜ、館長はこのようなイベントを考えたのか。平成23年3月11日、東北で東日本大震災が発生した。千年に一度の大災害であった。失われた人命は一万六千人。館長は、全国の龍馬ファンに集まって頂き、亡き人々の冥福と東北の復興を祈つてもらいたいと思つたのだ。この森館長の呼び掛けに賛同して集つた人数は900名。龍馬像とシェイイクハンド、龍馬の間を手と手を結び、東北の復興と世界平和を祈つたのである。

その4年後の、昨年11月15日、龍馬生誕180年を祝う「第4回レツツゴー！ハンドインハンド」が開催された。盛大立つていたのである。ソフバンクの孫社長を始め、集つた一千人が手と手を結び、東北の復興と世界平和を祈つた。そして、森健志郎館長の冥福を祈つた。合掌

(海猿)